

「教育立市」宣言：新潟県燕市^{つばめ}

～ふるさとを愛し、人間性豊かで生きる力みなぎる燕の子ども～

地域の
特色ある
活動

新潟県燕市教育委員会

1 はじめに―「教育立市」宣言―

新潟県のほぼ中央に位置する燕市は、多くの企業が集まる「ものづくり」のまちです。

江戸時代後期の名僧・良寛はここを定住の地とし、良寛の思想や慈愛の心を受け継いだ私塾・長善館は、幕末から明治にかけて有能な人材を数多く輩出しました。また、大河津分水路を完成させ、この地を日本一の穀倉地帯に変えました。

これら先人の偉業を継承し、ふるさとに愛着をもち人間性豊かな人づくりを市民とともに推進するために、燕市は「教育立市」宣言をしています。

2 つばめ長善プロジェクト

燕市の歴史や文化・伝統含め「ひと・もの・こと」についての探求学習を展開しながら、自分のよさを伸ばしたり、新たな可能性を広げたりする様々な事業や活動に取り組み、ふるさと燕への愛着を育んでいます。

一部を紹介します。

(1) 燕ジュニア検定・つばめっ子かるた

燕市の魅力満載の問題集（燕ジュニア検定問題集）、かるた（つばめっ子かるた）を活用し、ふるさと学習を進めています。

① 燕ジュニア検定

問題集をもとに、11月に市内全小学校で一斉に「検定」を実施します。子供たちの発達段階や関心に合わせ、3クラスの問題を用意しています。

② つばめっ子かるた

2月に「つばめっ子かるた大会」を開催しています。園児、低学年、中学年、高学年と4つの部に分け、チームごとに競い合います。



約400問の「燕ジュニア検定問題集」（左）と絵札は黒井健氏による「つばめっ子かるた」

(2) つばくろロボキッズ教室

「ものづくり」に携わる地域の皆様のご協力をいただきながら、プログラミングで自律型動作ロボットを動かします。チームを組んでWRO大会にも出場します。

(3) 広報つばめ子ども記者

燕市の広報誌「広報つばめ子ども版」を制作・発行します。

企画・取材・編集まですべてチームの力でいき、完成させます。



燕市の新たな魅力に気づきます

3 Good Job つばめ

キャリア教育の一環としての職場体験を充実させ、望ましい勤労観・職業観を育み、ふるさと燕への愛着や誇りの醸成をめざします。職場体験は、燕市全体をフィールドにし地域及び産業界と連携の上、ダイナミックに展開します。市内 130 ほどの事業所から生徒の受入れにご協力いただいています。

(1) キャリア教育講演会

生徒及び保護者を対象に、「社会人・職業人として必要な基礎的汎用的能力」や「ふるさと愛」について、燕市にかかわりの深い講師からご講演いただきます。

(2) マナー講習会

社会人として必要なマナーや職場体験で大切な礼儀作法等について、実際の・実習的に学びます。



対人スキル等を学びます

(3) 職場体験

130 ほどの事業所の中から生徒が選び、履歴書で自己PRをし、3 日間の実習に入ります。移動が困難な場合、必要な交通手段は市教育委員会が手配します。

3 日間の職場体験を通じ、直接、働く方々と接し、実際の知識や技術・技能に触れることができます。そのことにより、働くことの意義を実感したり、働く方々への敬意や憧れの気持ちを抱いたりすることができていると考えます。

なお、この「Good Job つ



業種は多岐にわたります

ばめ」は、「地域におけるキャリア教育の充実発展に顕著な功績を挙げた事業」として、文部科学大臣から表彰していただき、その喜びを地域及び産業界の皆様とともに分かち合っています。

4 「教育立市」宣言の具現に向けて

ふるさと燕を舞台に、魅力ある「ひと・もの・こと」に触れ、愛着や誇りを抱くような取組を大事にしてきました。また、さらにそれを充実させていきたいと考えています。なぜなら、それらを通し、子供たちに自己肯定感や地域社会への貢献意欲などが育っていることを実感しているからです。

「全国学力・学習状況調査」の結果からも、『自分にはよいところがある』、『地域や社会をよくするために何かをしたいと思う』と肯定的に回答する児童生徒が、ここ数年、小6も中3も全国比を大きく上回っていることがわかりました。また、『学校が楽しい』や『幸せな気持ちになる』、『困っている人を進んで助ける』、『友達関係に満足している』など、質問紙調査の多くの項目で同様の傾向があります。

「教育立市」宣言の具現をめざし、これら、非認知能力の高まりや学校生活の充実度などの調査数値も参考にしたいと考えます。

5 おわりに

燕市教育委員会は、これからも、様々な事業や取組・活動を通して、ふるさと燕を愛し、人間性豊かな子供たちが育つよう、市民・地域の皆様とともに努めてまいります。



教育長
小林 靖直